

平成24年度 信州大学農学部 防災訓練プログラム

期日 平成24年10月29日13時00分～14時00分 ※雨天延期

対象 農学部教職員、学生(授業中の学生は対象外)

本訓練の命令・指揮は、副本部長(三浦副学部長)が行う。

※敬称略

時刻	事項	内容					
10時00分	準備・グラウンド	準備するものは、「防災訓練準備品」を参照					
12時55分	誘導者配置	ボイラー室付近に誘導者(庶務唐澤)は張り付く					
13時00分	災害発生・訓練開始 避難路確保 二次災害防止 避難開始 非常袋の持ち出し	<p>(大規模地震(マグニチュード7、地震6弱)、建物の一部損壊及び負傷者有りを想定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常ベルで合図。約30秒間鳴らし続ける。・机等の下に身を隠し、落下物等から身を守る。・ドアを開け、避難路確保 ・身近の火気設備、機器類の元栓を閉止、電源を遮断する。 <p>①ガス栓の閉止、②部屋の照明機器類(共同使用の電算機、複写機等)の電源遮断、③パソコンの電源遮断、④ドアの開(地震時)閉(火災時)</p> <p>※災害発生時10分以内に避難すること。</p> <p>・避難経路の安全確認の上、非常袋(防災グッズ、報告書用紙等在中)を持ち出し、ヘルメットを着用し、避難経路に基づきグラウンドへ避難</p>					
13時10分	安否確認開始	補佐	「学生は所属学科・専攻ごとに、教職員は所属班の書かれた看板の前に並んでください。学生班、総括連絡班は、ただちに学生と教職員の安否確認を開始してください。」				
	災害対策本部の設置 ↓ 3班任務開始 ↓ 避難完了	総括連絡班(清水)		学生班(竹松)	(避難がほぼ完了したら)		
		【安否確認・開始】		【安否確認・開始】		補佐 「ここに農学部災害対策本部を設置します。災害対策本部長を学部長、同副本部長を副学部長(事務担当)とします。本日の地震により、建物の一部が損壊し、負傷者が課外活動施設付近にいる模様です。」	
		班長 「総括連絡班、教職員の安否確認開始します。列ごとに名簿を渡すので、自分の名前のところにチェックしてください。」		班長 「学生班、学生の安否確認を行います。列ごとに名簿を渡すので、自分の名前のところにチェックしてください。」		(総括連絡班から、下記3班の活動者の安否確認が報告されてから)	
		<p>・教職員の安否確認は、各班ごとに並んでいる教職員に名簿を回してチェックし、班員がまとめる。</p> <p>※右記3班の活動者を優先し、速やかに補佐に報告する。</p> <p>・安否確認が済んだ教職員は、そのまま座って待機。</p>		<p>・学生の安否確認は、学科・学年ごとに並んでいる学生に名簿を回してチェックし、班員がまとめる。安否確認が済んだ学生は、そのまま座って待機。</p>		補佐 「学生と教職員の安否確認をしている間に、医療・救護班、施設管理・消火班、物品管理班はそれぞれ任務を開始してください。」	
				～～学生・教職員の安否確認をしている間に、下記3班は、それぞれ活動・報告する。～～↓			
				医療・救護班(宮澤)	施設管理・消火班(瀬川)	物品管理班(奥原)	
				担架・毛布搬出(本部横の救護所より)	【被災状況の調査・開始】	【備蓄物品運搬・開始】	
				【負傷者救助・開始】	班長 (副本部長に向かって) 「施設管理・消火班〇〇名は、建物、道路等の被災状況の確認に向かいます。」	班長 (副本部長に向かって) 「物品管理班〇〇名は、防災物品の運搬のため、備蓄倉庫に向かいます。」	
				班長 (副本部長に向かって) 「課外活動施設付近に負傷者がいる模様です。医療・救護班〇名は、直ちに救助に向かいます。」	副本部長 (班長に向かって) 「了解。施設管理・消火班出動。」	副本部長 (班長に向かって) 「了解。物品管理班出動」	
				副本部長 (班長に向かって) 「了解。医療・救護班出動。」	班長 (班員に向かって) 「施設管理・消火班は、建物内外の被災状況の調査、火災の防止に向かいます。」	班長 (班員に向かって) 「物品管理班は、体育館にある備蓄倉庫へ向かいます。」	
				班長 (班員に向かって) 「課外活動施設に負傷者の救助に向かいます。」	※課外活動施設へ向かう。	※実際は課外活動施設へ向かう。	
				※担当者は課外活動施設へ向かう。	【調査後、被害状況報告書作成】		
				※課外活動施設で1名の負傷者を想定。応急救護所から担架を調達したうえ救助し、応急救護所へ移送。負傷者1名(松井)は、該当箇所待機。			
		～～各班、それぞれ状況確認等が終われば、随時報告に入る。～～					
各班から本部へ報告		【教職員の安否確認・報告】	【学生の安否確認・報告】	【負傷者救助・報告】	【被災状況の調査・報告】	【備蓄物品運搬・報告】	
		班長 (副本部長に向かって) 「教職員の安否報告を行います」	班長 (副本部長に向かって) 「学生の安否報告を行います」	班長 (副本部長に向かって) 「医療・救護班、〇名出動、〇名戻り、安否が確認できていなかった学生は、課外活動施設で負傷、たぐいまれに救出しました。」	班長 (副本部長に向かって) 「施設管理・消火班、〇〇名出動、〇〇名戻りました。被害状況を報告します。」	班長 (副本部長に向かって) 「物品管理班、〇〇名出動、〇〇名戻りました。防災物品を本部横に設置しました。」	
		【報告例】 総括連絡班 総数〇名 避難確認〇名 内負傷者〇名	【報告例】 食料生産科学科 総数〇名 避難確認〇名 内負傷者〇名	副本部長 「了解。」	【報告例】 建物被害 総合実験実習棟窓ガラス破損、ライフライン 管理棟で電気が使用できない箇所あり、物的被害、火災なし	副本部長 (班長に向かって) 「了解。」	
		副本部長 (班長に向かって) 「了解。」	副本部長 (班長に向かって) 「了解。」		※上記被災状況はあらかじめ、報告書に記載しておく。	※課外活動施設に行き、段ボール2つを持ってグラウンドに戻り、本部横に積む。	
		任務終了後待機	任務終了後待機		副本部長 (班長に向かって) 「了解。」		
13時30分	消火器操作訓練	補佐	「以上で救助訓練を終了します。引き続き、消火器の操作訓練を富士防災の指導により実施します。訓練の見える位置にお集まりください。」				
13時50分	伊那消防署講評	補佐	「続いて、伊那消防署の〇〇様より講評をいただきます。」 (伊那消防署『予防課 課長』様)講評				
13時55分	本部長講評	補佐	「続いて、災害対策本部長より講評をいただきます。」 (災害対策本部長講評)				
14時00分	訓練終了	補佐	「以上をもちまして、本日の防災訓練を終了します。御協力ありがとうございました。なお、今回の訓練に関するアンケート調査を行いますので、お帰りの際に記入の上、回収箱へ入れてください。講義棟にも回収箱を用意しますので、ご協力願います。」				
終了後	片付け						